



9月27日(土)、夜間瀬川河川敷にて佐野区のマレットゴルフ大会が開催されました。80代70代のベテラン勢に我々ビギナースも加わり奮闘しました。師匠の打ち方を見習うつもりが、空振りしたりOBしたりとなかなかゴールにたどり着きません。見かねたベテラン勢から手ほどきを受けながら、「マレットはね、焦ってはダメ。コッソリ、コッソリと確実に打っていけば、おのず

マレットゴルフ大会に参加して

湯本 晶子

とゴールに近づけるんだよ」と深いお言葉まで頂きました。お陰様でカキンと軽やかな音で玉がスッと伸びた時はなんとも爽快な気分でした。日差しも暑く運動不足もあいまってバテ気味でしたが、皆さんお元気で感服いたしました。結果は昨年より1つ順位を上げてのブリービー賞で豪華景品まで頂くことができました。皆さんもこの大会でマレットデビューいかがですか。



佐野公民館マレットゴルフ成績表

順位	性別	氏名	スコア
優勝	男	宮崎 周三	96
準優勝	男	山崎 栄治	100
3位	男	岸 弘光	103



第77号

発行所 佐野公民館
責任者 湯本 睦夫
編集 情報委員会
印刷所 北信ローカル



勾玉づくり



勾玉作り講習会に参加して

高田 洋一

11月8日(日)佐野公民館主催の勾玉作りの講習会が、佐野ふれあいセンターにて午後1時から2時間の予定で行われました。

まず会場に入ってびっくり。縄文人にふんじた方々の歓迎をうけました。戸惑う間もなく縄文服を選ばされ、麻袋にきれいに刺繍された手作り縄文服に首を通しました。ちょっと首元がチクチクしましたが、これで私も縄文人の仲間入り。その後、開式のセレモニーがあつて講師を紹介いただきました。畔上不二男先生は町公報でおなじみの方で、まずは佐野遺跡のことをわかりやすく解説いただきました。近くに住んでい



話も出てきて、あと何分と言われる頃には結構皆さん親しげに話をする仲になりました。私は最後まで芋虫のようでしたが、ひもを通して首からかければ、まあ勾玉に見えなくはない。縄文服を着て、できた勾玉を首からかけて、年配者から小学生までの小さな縄文村の集合写真を撮り、皆満足して講習会を終えました。意外とうれせき石は削りに手間どりましたが、最後に皆さん完成させられたのは、時間の計画もよかったでしょう。また、材料や道具の用意も大変だったことでしょう。ことに縄文服の用意は雰囲気高めめるのにいい演出でした。関係者のみなさんのご努力に感謝いたします。ありがとうございました。

6年 中嶋 悠人

僕は今日ほなみふれあいセンターで、まが玉作りをしました。最初は佐野遺跡の話が聞きました。いざやると結構簡単でした。なぜなら1回やったことがあるからです。やってみたら、あまり丸みが無いのを作りました。他にも小さい石の欠片で、まが玉ではないものを作りました。次作るときは、もっと丸みをおびたものを作りたいです。最後にとても楽しかったです。



佐野遺跡って、こんな遺跡！！

佐野遺跡は、日本を代表する縄文時代晩期（約 3200～2400 年前）の遺跡の一つです。少しご紹介します。

佐野遺跡プロフィール

- 【発見】昭和6年(1931)、穂波尋常小学校（現南小学校）に赴任した神田五六先生が遺物を表面採集。
- 【全国に紹介】昭和7年、全国的雑誌『考古学』に論文「信濃国下高井郡佐野の土器」として掲載。
その後も考古学雑誌に掲載されて広く知られ、学界の注目を集めた。
- 【発掘】第1・2回発掘 昭和33・34年（1958・59） 2万点超の遺物（土器・石器等）が出土。
その後も10回以上にわたって発掘調査。
- 【遺物】縄文時代晩期の土器・石器類、獣骨など。平安～中世の焼き物・金属類・骨など。合計4万点超。
- 【遺構】集石、炉跡、埋甕など。（住居跡は未検出）
- 【指定】昭和51年(1976)、国の「史跡」として文部省より指定。指定地は字谷地・畑中の一部。
- 【整備】昭和55年(1980)、第1史跡公園。標識・説明版・炉跡や集石遺構の復元・植栽など。〈写真左〉
平成5年(1993)、第2史跡公園（大日堂の湯北側）に「薬用・食用植物の広場」。〈写真右〉

【山ノ内町教育委員会 提供資料】



『しめなわ』をつくって たのしかったこと

3年 町田 新汰

しめなわは、今回で、2回目です。しめなわづくりを、去年やってうまくできなかった。今年、やってみたら、うまくできました。たのしかったです。
しめなわづくりで、手をたくさんつかって、たのしかったです。しめなわで『わっこ』を、つ
くって『かざり』が、たのしかったです。
こんどの、しめなわづくで、うまくしめなわづくりをしたいです。また、たのしくやりたいです。



1年を振り返り

佐野公民館長
湯本 睦夫

令和7年度、佐野公民館の事業を振り返りますと、皆様の温かいご支援とご参加が、活動の大きな支えとなりました。実り多き1年となりましたこと、心より感謝申し上げます。
地域の皆様が公民館に集い、新たな学びや出会いが生まれ、地域がより明るくなるのが公民館事業の目的の1つでもあります。公民館事業の中でも、特に勾玉作り講習会やしめ縄作り講習会では、物作りの楽しさを幅広い世代間で共有でき、地域コミュニティのお役に立てたものと感じております。来年度も「みんなが集い、みんなが学び、みんなが楽しむ場」として、公民館活動を一歩前へ進めていきたいと考えております。
地域の皆様のニーズに合わせた新しい企画にも挑戦し、より一層魅力的な公民館を目指してまいります。ぜひ、ご参加頂き、活動のご支援をお願い致します。

編集後記

情報委員 中嶋 宏文

今年も、佐野公民館運営委員会が計画した多くの行事が、天候にも恵まれ、無事に実施することができました。特に子供たちの参加が多く、館報に掲載する子供たちの記事もたくさん集まり、大変うれしく思っております。
最後になりましたが、発行にあたりご寄稿いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。